

# 社長 第229回 INTERVIEW

N43°からの発信  
北海道のITソリューションを支援する

## 北明システム株式会社

— 佐藤 正輝社長に聞く



佐藤 正輝社長

ソフトウェアの受託開発を主力に、システムコンサルティング、ハード販売などを手がける北明システム(株)。流通業・サービス業・シルバー産業向けシステム開発での実績をもとに、さらに新たなシステムを創造し、発展を続ける佐藤正輝社長にお話を伺った。

(聞き手：札幌支店情報部 香川仁志)

### —当社に入ったきっかけを教えてください

1970年、東京に所在するシステム開発業者に入社し、東京でシステム開発の仕事をしていました。入社してから10年後には出身地である札幌へ赴任したのですが、生まれ育った札幌で落ち着いて仕事をしたいという気持ちが強くなっていました。そのような折、ある道内企業の電子計算処理代行を行う会社として当社が設立されるという話を聞き、転職したのがきっかけです。

### —現在、主にどのようなシステムの開発を手がけていますか

流通業やサービス業、シルバー産業向けにシステム開発を行っております。

流通業向けに関しては、卸売業・小売業間の電子データ交換向けのEDIインターフェースソフト「eWEScom」などを開発しております。簡単に説明させていただくと、卸業者と小売業者間の取引を円滑に進めるためのソフトになりまして、道内のスーパーストア様をはじめ、多くの企業様でお使い頂いております。

以前は、スーパーストアであれば食品卸業者か

ら、ドラッグストアであれば医薬品卸業者から品物を仕入れていましたが、今はドラッグストアでも食品を扱っているように、商売の幅が広がっております。扱う品目や、取引業者が増えるほど複雑な処理が必要となりますが、当社は卸業者の仕組みだけでなく、その川上であるメーカーや、川下の小売業者の仕組みを理解したうえでシステム開発を行うことで、便利で使いやすく、複雑な受発注も画面上で簡単に処理できるシステムに仕上げました。また、ロケーション管理・在庫管理システムも導入することで、棚番を見てスムーズに在庫・出荷が可能となり、商品の置き場所を探す必要がなくなりました。これまでの導入実績もあり、現在では東京に所在する大手の生活商品総合商社様のシステムにも採用されております。

### —サービス業向けのシステムはどのようなものを取り扱っていますか

主にホテルや旅館、温浴施設のほか、葬儀場や火葬場向けのシステムを取り扱っております。予約の管理はもちろん、併設する宴会場やレストラン、ブライダルの管理まで対応することができます。温浴施設などでは、入館する際に渡されるリストバンドを見せるだけで、施設内で商品の購入やサービスを受けることができるシステムも導入しております。

### —現在力を入れている事業、今後力を入れたい事業についてお聞かせください

現在は介護・福祉システムや、霊堂、火葬場、お墓などの管理システムを積極的に手がけていま

す。昨年より団塊の世代が70代に突入したこともあり、こうしたシルバー産業が盛んになるものと思います。

また、今後については、新たな受発注システムなどの構築を目指しております。現在はパソコンやスマートフォンの普及により、アナログとデジタルが共存していますが、いずれはデジタルのみになり、社会のシステムも大きく様変わりしていくものと思います。そうしたなかで、単純作業や多量な作業はできるだけ機械に任せ、人は人にしかできない仕事に専念できるよう、常に最先端の技術を取り入れ、急激に変化していく時代に必要とされているもの、将来必要になるであろうものを先読みし、未来の情報社会に役立つシステム創りにチャレンジしていきたいと思っています。

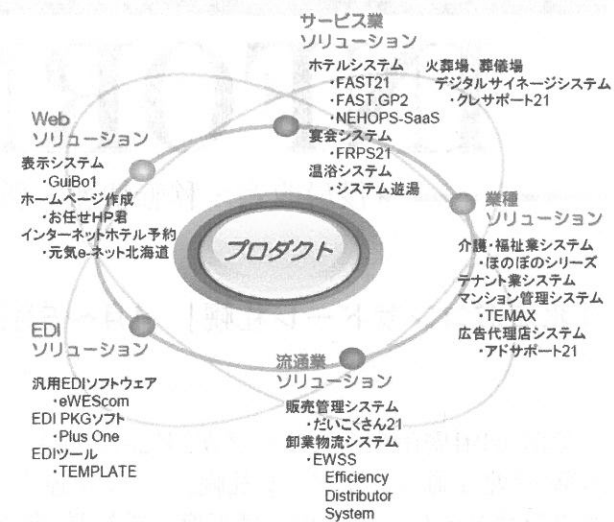
### —経営者としての信条をお聞かせください

システム開発を行うにあたり、心掛けていることは、「Hight-Presentation」「Hight-Support」「Hight-Maintenance」の3つのハイです。お客様からの要望だけでなく、より良いシステムに仕上げるためにこちらからも積極的に提案をするほか、継続的なサポート、状況に応じたメンテナンスを行うことで、お客様との信頼関係を構築し、より良い関係を継続できる会社づくりを行っています。また、社員にもいつも言っているのですが、私たちが創ったシステムを導入することで、お客様の業務効率化や負担の軽減に繋げ、社会貢献することです。

ほかには、私が作った「一・三・五・十の実践」というスローガンがあります。意味は、1回トライして出来なくてもそれで判断せず、2回、3回トライしてみる。悪いこともすぐに判断せず、データを取り続け、諦めずに続けること。ただし、失敗は4回まで。また、一・三・五・十などの節目の日・月・年では、今まで行ってきたことを見直すことが大事だと思っています。

### —札幌市が観光客向けに発信する交通情報案内サイトの開発を手がけていますね

今年の1月29日より実証実験がスタートしたWebサイト“観光客向け「交通情報一元化提供」サービス”の開発に携わっております。サイトは日本語を始め、英語、中国語(簡体、繁体)、韓



国語の5カ国語に対応しており、JR・地下鉄・路面電車・空港などの各交通機関の運行状況を一括して得ることができます。スマートフォンやパソコンからアクセスできるほか、札幌駅をはじめ、ホテルなどにあるデジタルサイネージでも映し出されており、外国から訪れる観光客の方も、事故や災害による運休やダイヤの乱れなどが発生した際、スムーズに情報を得ることができます。

### —今後についてお聞かせください

21世紀は情報社会、ネットワーク時代といわれており、社会は絶えず変化し続けていきます。そうしたなか、IT、IoTを有効活用し、ニーズを先取りしたITソフトウェア技術・ネットワーク技術で、時代をリードするシステム開発を行い、これからは北緯43°、北海道で生まれ育った企業として誇りを持ち、北海道から世界へ、飛躍を目指していきたいと思っています。

### —本日はありがとうございました

#### 会社概要

北明システム(株)  
 企業コード：010314418  
 本社：札幌市中央区南2条西13-319  
 設立：1980年2月  
 電話：011-222-3636  
<http://www.hokusys.co.jp/>